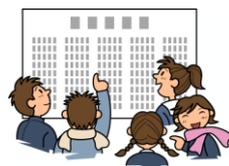


## 15歳の挑戦！ 県立高校志願者数発表！

倍率は1.16倍 3月10日(木)入試

3月1日朝刊に、今年の県立高校後期選抜試験の志願状況が発表されました。3年生の約14%の生徒は前期選抜等で進路先が決まり、新しい生活を意識した心構えを作っていることでしょう。しかし、多くの生徒は、最終目標に向かっての決意を新たにしたのではないのでしょうか。この状況を見て少しほっとしている人や、ますます不安になり一度だけできる志願変更のことで、相談している人もいるのではないかと思います。



今から本番を迎える受験生は、いま一番不安なときかも知れません。しかし、自分を見つめ揺れる気持ちを整理し、毅然とした態度で自分の目標に向け進むことが大切です。全力を尽くし、朗報をもたらしてくれることを期待しています。

また、1, 2年生のみなさんはどれほど興味を持って、この新聞を見たのでしょうか？高校へ行くということは「きちんとした中学生活が送れた」という根拠のもと、さらなる学習を続けるということです。その学習とは、教科はもちろん、人との接し方、話し方、コミュニケーションの取り方や考え方、行動など生活全てになります。どの高校でも、どの場所でも自分というものを見失わず、正しい判断のもとに動ける自分であるよう、日頃から自分の行動に目を向ける必要があります。

学校では、進路学習として職業調べや高校調べ、また、職業体験など将来の進路について、少しずつ学習を進めています。しかし、普段からみなさんが、高校や大学・企業・職業などについて関心を持ちガイドブックや新聞を読み、家族や知人から話を聞くなど自らが興味を持って取り組むことが大切です。

明日は卒業式です。3年生にとって最後の授業となります。これまで3年間で培ってきたものが、社会で通用できるという自信にもつながります。何も分からないまま、校門をくぐり中学生としての一歩を踏み出した入学式から、みなさんの中学校生活はスタートし、小学校とは違う学校生活にとまどいながらも、一つ一つのことをやり遂げ、勉強はもちろん、学校行事、学年行事に精力的に取り組み、大きな成果を発揮し、部活動に燃え、勝つ喜び、敗れる悔しさを味わい、一步一步これまでを歩んできました。過ぎてしまえば楽しい思い出、あっという間の3年間だった・・・と言ってしまうがちですが、そんなことはないはず。きっと誰もがその時その時は長く、辛く、せつないことも経験したはずです。そして苦しい中、切り抜けて来た記憶があるはずです。その記憶を忘れず、これからの生活の糧にしてほしいと考えます。明日は学校に残る在校生とともに精一杯の気持ちで皆さんを送り出したいと思っています。卒業、おめでとう。



## 学校づくり協力者会議

第3回学校づくり協力者会議が2月12日(金)に開催されました。委員の皆様には本年度の学校関係者評価をしていただき、裏面のような評価をいただきました。今後、この結果をもとに学校づくりの改善に取り組んでまいります。

委員の皆様ありがとうございました。

評価項目	評価のまとめ
<p>確かな学力の向上並びに主体的に生きる力の育成に向け、学校全体として取組が進み、成果をあげているか。</p>	<p>「わかる授業」について、生徒の8.5割が先生たちは、授業を分かりやすく教えてくれていると評価している。これは、教師全体が相互に授業公開を行う取り組みの成果の現われだと思う。しかし、授業が分かりにくいと回答している生徒がいるのも事実であり、このことをしっかりと受け止め、今後も教師自身が、よりわかりやすい授業を目指して、授業改善に向けて努力してほしい。</p> <p>また、「適切な評価」の項目で、保護者で「分からない」と評価されているのが気になる。どのように生徒が評価されているのか、学校としてきちんと伝える責任がある。</p>
<p>仲間づくりや道徳・人権教育の充実を図ることで豊かな人間性の育成をめざし、取組を進めているか。</p>	<p>生徒からの肯定的な評価は、昨年度の結果と同様、約9割となっている。保護者からの肯定的な評価は、ほとんど変わらず、7割強となっている。しかし、嫌がらせ等の理由により、仲間づくり及び、学校生活が楽しくないと思う生徒も多少いるという現実を理解し、生徒と接してほしい。</p> <p>今後も、学校に行きづらく感じている生徒の早期発見、早期対応のために、通常の教育相談に力を入れるとともに、日頃から生徒と会話する時間を多くし、「楽しい会話」をしながら信頼関係を築き、スクールカウンセラーと連携してアドバイスや指導を行いながら、生徒が円滑な人間関係を築けるよう、組織的に改善や集団づくりを行ってほしい。</p> <p>「道徳・人権教育の充実」の項目では、生徒からは約9割弱、保護者からは7割の肯定的な評価をいただいた。ネットモラルなど生徒の身近な教材を活用し、日常の指導や取り組みを行った成果ではないかと考えます。</p> <p>道徳の時間はもとよりすべての領域、教育活動において人権教育の充実を図り、「いじめ」のない、仲間づくりに重点を置いた指導を心がけ、生徒や保護者にそのことが実感できるよう、対応していきたい。</p>
<p>安全な環境の中、楽しく充実した学校生活を送れるよう努力をしているか。</p>	<p>生徒の9割強、保護者の9割の方が、安心して学校生活を送れていると感じているようだが、登下校時の自転車の乗り方の安全マナーが悪いとの指摘も多く耳にする。学校全体での指導及び、地域での指導も更なる取り組みが必要である。</p> <p>学校全体は落ち着いた雰囲気である。その中で子どもたちが静かに授業に集中できている姿が見られた。ぜひ今の状態を維持していただきたい。</p> <p>さらに、休み時間も含めて日頃から生徒の活動の中に入り、生徒と会話をし、信頼関係を築いていっていただきたい。その信頼関係が問題行動の早期発見、早期対応につながる。</p>
<p>生徒・家庭・地域との信頼関係の確立に向けた努力をしているか。</p>	<p>「保護者・地域との連携」で、保護者の8.5割、生徒の約9割が肯定的な評価をしていただいているが、今後さらに地域の方々との連携を図っていく必要がある。信頼関係は地域の方々の理解で確立していく。</p> <p>「情報の発信・受信」でも約7.5割の保護者の方から肯定的な意見を頂いている。ホームページ等で、学校の様子を詳しく伝えていっていると、肯定的な評価をいただいている。</p> <p>しかし、学校アンケートの結果で、保護者の結果が生徒の結果より低いので、学校の情報発信の方法の工夫が必要となる。ホームページもタイムリーな発信を心がけてもらいたい。</p>
<p>その他</p>	<p>登下校中の交通マナーの悪さが目立つ。</p> <p>学校のホームページをどれくらいの方が見ているのか。</p>

